

# Dreams in Hawaii



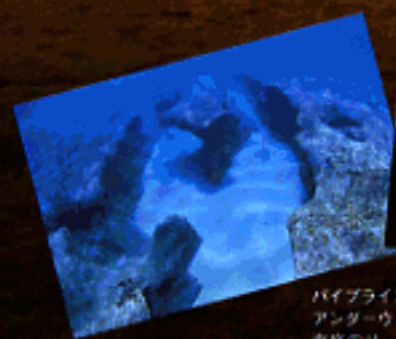
Photos by Kenji Sahara, Shigeki Matsui, Tim Jones, U-ske  
Text by Meko Shinomiya

夢の楽園、波乗りの聖地にかかるレインボー・マジック

今年も、世界中から多くのトッププロたちがハワイにやってきた。いろいろな人たちの夢と期待と想いが錯綜するスポット。そんなステージで繰り広げられるセッションは、ハワイにしかないバイブに包まれている。



波と太陽と潮風に磨かれたボディ。  
Photo: U-ske



パイプラインの波がここまでパーフェクトな理由は、このアンダーウォーターの世界にも隠されている。深い水深、海底のリーフ、開けた波を透すカレント。いろんな要素が重なって、素晴らしいリリカルを生み出しているのだ。  
Photos: Shigeki Matsui



サンセットタイムには、ファミリーでメロウな時を過ごす、パイプの帝王マイク・スチュワート。ノースショアのビーチも一日の時の移ろいの中で、いろんな表情を見せる。  
Photo: Shigeki Matsui

一瞬の霽雨の後に現れる、自然の神様からのプレゼント。  
Photo: Kenji Sahara

# PIPE DREAMS 3 DAYS

夢のパイプラインコンテスト

## ROCK STAR GAMES PIPELINE PRO 2007

ハワイ・オアフ島ノースショアのパイプラインで、1月6日から16日のウェディング期間で開催された「2007 Rockstar Games Pipeline Pro」。エピックな波でトッププロたちのデッドヒートが繰り広げられた!

Photos by Kenji Sahara  
Report by Ayako Anzaki Ide (Day2 & 3)



### Chigusa Nishiyama

憧しくラウンド2で敗退してしまったが、ステファニー、ネイマール、マリアナの超・強豪相手に奮闘した。



### DAY 1

### 6人の日本人プロが参戦!

ここ数年の「Rockstar Games Pipeline Pro」は、メンズクラスのみで開催だったが、今年は久しぶりに男女ともに部門が設定され、世界各国からトッププロが集まり、例年以上の盛り上がりを見せた。1月6日からウェディングが始まり、一度大会開催されるかといわれた日が一日あったが、それも見送られ満を持して11日、ついにウィメンズからスタート。朝から徐々にサイズアップし、4-6-8-10ft、そして最終的には12ftのゴーイングオフ。最高のパイプTHE DAYといえる大会初日となった。ウィメンズには十分すぎるほどのサイズで、一歩間違えば、大けがにつながるシリアスな状況の中、世界中から集まったガールズポーターたちは、見応えあるチャージを披露。

日本から参戦した選手は、小池葵、井出アンジェタ彩子、甲地由美恵、西山千草、奥山千晶、溝口美千子の合計6名。ラウンドアップしたのは、奥山千晶、溝口美千子、小池葵の3人。奥山と溝口は進々決勝で敗退。小池葵が決勝進出し3位を獲得した。決勝は小池、オーストラリアのキラ・ローリン、ブラジル出身ハワイ在住のダニエラ・フレイトス、そして同じくブラジル出身で今はハワイに住んでいるレイラ・アリィの4人。波はさらにサイズアップし、たまのセットで12ft。誰が優勝してもおかしくないファイナルのメンツだったが、ひとり離れたところにポジションしていたダニエラが小さめの波でポイントを稼ぎ優勝した。

甲地由美恵を追い上げて日本から来たTV「情熱大陸」取材班。甲地のヒート中はヘリコプターでの空撮も。



### Yumie Kouchi

甲地由美恵には、特別賞として「The Most Inspirational Award」(いちばんインスピレーションされたという賞)が贈られた。



お尻をケガし、しばらく海に入っていなかった千草。決して本調子ではなかったはずだが、こんなロケが特徴!



### Leila Alli 4th

愛しのダーリンとベイビーに見守られ、見事なカムバックを果たしたレイラ。これからも活躍を期待したい。



レイトテイクオフから、そのまま落下。これで膝をケガしたレイラだが、この後も鎮痛剤を飲んで試合を続けた。



### Michiko Mizoguchi

このデカ波でも、落ち着いてマイペースにいい波を選びクォーターファイナルまで勝ち上がった溝口美千子。



### Chiaki Okuyama

マリーナ、ダニエラ、ネイマールという、ものすごいメンツのクォーターファイナルで惜しくも敗退した奥山千晶。



### 危険なワイプアウト続出。

この日の後半にはセカンドリーフが恐れられ、巨大なセットに危険なワイプアウトやウォッシュアウトが続出した。これは、セミファイナルで10回のウォッシュアウトを喰らい、根をまっこと折ったイザベラ・ソウザ。

### Isabella Souza



### 2nd Kira Llewellyn

メンズ御用金の突っ込みをしていたキラ・ローリン。結果は2位だが、間違いなくこの日のNo.1チャージャー。



ウィメンズの中で唯一、こんな8ft級のセットの波をビークラからテイクオフし、チューブを抜けていたキラ。